

社会民主主義 フォーラム青森 通信

NO.13

2022年5月15日

フォーラム青森

〒030-0802

青森市本町3丁目3番11号

青森県平和労組会議気付

forum-ao2021@outlook.jp

080-5413-2848 (事務所専用 TEL)

第2回フォーラム青森総会開催

社会民主主義フォーラム青森第2回総会が4月29日アピオあおもりで開催されました。この総会は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、2か月遅れで開催となり、感染防止のため各支部参加者を限定し、支部代表11名、役員11名の合計22名の参加で行われました。

冒頭、山名副代表の開会あいさつの後、総会議長に八戸支部鶴飼氏を選出し、藤田代表のあいさつに続き、来賓として参加した田名部匡代参議員から今年7月に予定されている参議院選挙に勝利するため全力で闘い抜くとの力強い挨拶があり、満場の拍手で激励されました。また、青森第1区升田総支部長も出席され、昨年の総選挙のお礼と新たな決意で共に活

動する旨の挨拶がありました。そして議事が進められ、活動・決算報告には意見等がなく採択されました。この議事の途中で、6月12日投票の六ヶ所村長選に立候補予定の山田清彦氏が急遽駆けつけ、反核燃を訴えて闘う決意を述べてフォーラム青森の支援を要請しました。

その後、活動方針と予算案の提案を受け、5名から活動の活性化や組織運営の改善を求める質問・意見がありました。幹事会答弁を踏まえて全体の拍手で採択されました。

最後にロシアの軍事侵攻を糾弾し、ウクライナからの撤収を求める特別決議を採択し閉会しました。(原子秀夫)



藤田代表



たなぶまさよ参議院議員



感染対策をとった会場

立憲泉代表、大西選对本部長来青

4月29日、立憲民主党・泉代表が来青し、青森イトーヨーカ堂前で泉代表をはじめ田名部匡代参議院議員・県議・市議がそろい、街頭から立憲民主党への支援と田名部匡代参議院議員当選への支援を訴えた。

当日は、県フォーラム青森の定期総会もありました。雪も降りそうな天候だったこともあり、聴衆の集まり状況は芳しくありませんでした。

翌30日早朝、泉代表との懇談会があり、田名部参議院議員と升田第1区総支部長、青森市議と(フォーラム青森)齋藤事務局次長も参加し意見交換を行いました。

大西本部長からは①野党連携と市民連合との状況について②現状の中では非常に厳しい選挙戦となること③青森は重点地区であることなどが述べられた。

その席上で①現状での野党連携のあり方について②これまでの「後援会」を中心とした選挙では限界がある。そのため、政党選挙への切り替えが求められているのでは③選挙戦を戦うにあたり、インパクトのある、市民に分かりやすい「政策」を打ち出すべきでは等々の意見交換が行われた。

両氏とも青森から下北へ移動し街宣・意見交換をおこなった。(齋藤憲雄)



5/6 下北文化会館

立憲民主党選挙対策委員
衆議院議員
大西 健介

ハ 戸 支 部 も 第 2 回 総 会 開 催

参院選・市議選の必勝を！



山名代表



原子秀夫事務局長



間山議長



高畑紀子第2区総支部長



5月1日、社民フォーラム八戸第2回総会が、三八地方労働福祉会館で開催されました。

来賓として、原子秀夫（フォーラム青森事務局長）・間山正茂（平和労組三八地本議長）・高畑紀子（立憲民主党第2区総支部長）の方々にご臨席いただき、それぞれ挨拶をいただきました。

山名代表は、市議会報告も併せて挨拶し、後藤（幹事長）が活動報告と方針、佐藤（副幹事長）が会計報告と予算案を提起しました。議会報告に質問がありましたが、方針は確認されました。

コロナ感染に気をつけながら、18名の会員・パートナー会員が出席しました。（佐藤）

■今月の予定

- ・たなぶまさよ躍進の集い
5/20 八戸 5/22 青森
- ・第2回支部総会
5/28 むつ下北支部 5/29 青森支部

上半期会費納入のお願い

各支部または会員個人宛てに請求書を送っています。

5/31日(火)が振込期限となっていますので、よろしくお願いします。

第2回自治労県本部自治体政策研究会総会



あいつする逢坂会長

等身大の鬼木さんパネル

5月7日、自治労県本部自治体政策研究会（社民フォーラムに加入する自治労県本部組合員及び退職者で構成する組織）は、第2回総会を開催し、16人（会員数56人）の参加のもと昨年行われた第49回衆議院選挙の総括を行うとともに、7月の参議院選挙闘争にむけて、総力を挙げて自治労組織内『鬼木まこと』候補と青森選挙区『たなぶまさよ』候補の必勝を誓い合った。

冒頭、逢坂重良会長から「プーチン・ロシアによるウクライナ侵攻のニュースが連日報道される中、自公政権は、『緊急事態条項の新設』『憲法9条で日本を守るか』『敵基地攻撃能力の保有』『核兵器の共有』など、国民感情を煽って憲法改正論議を日本維新の会や国民民主党を巻き込んですすめている。自民党は、敵基地攻撃能力の保有を意識し、防衛費を現在のGDP比1%程度から2%へ引き上げる案を示しているが、専守防衛を逸脱し、憲法が掲げる平和主義を形骸化しようとしている。

自治体職員はこの間、慢性的な人員不足とコロナ禍にあって集団接種業務などによる過密過重労働やタダ働きの実態が明らかになっている。働く者が主人公の社会に変えていく必要がある。自治労の政策を訴える私たちの代表『鬼木・たなぶ』を国会に送り出していこう」とあいさつ。

続いて、来賓の社民フォーラム青森藤田誠代表から「社民党から立憲民主党に合流し、社民主義を継承・推進する立場で社民フォーラムを立ち上げた。日本は、このままだと社会が壊れてしまう。自治労の会員の皆さんと一緒に心をひとつにしっかり運動をすすめていく」とあいさつ。

活動方針として、①社会民主主義フォーラム・労働組合等との連携強化 ②事務局機能の強化 ③第26回参議院議員選挙闘争の推進 ④活動家の育成について確認された。具体的には、保守政党との対立軸を明確に、格差是正、環境保護、ジェンダー平等、そして反戦・反核・護憲・平和を求め、社民主義を社会に根付かせる運動をすすめていく。

総会では、赤平泰衛会長、加藤篤事務局長の新体制が確認され、赤平会長の団結ガンバロー三唱で閉会した。（赤平）

